

校歌 永遠の幸

(札幌農学校校歌)

大和田建樹氏 校閲

有島武朗君 作歌

納所弁次郎君 作曲

一、永遠とこしへの幸朽きずくちぎる 誉ほまれ

つねに我等われらがうへにあれ

よるひる育そだてあけれ教おしへ

人ひととなしし我庭わがにわに

二、北斗ほくとをつかんだかき希望のぞみは

時代ときを照てらす光ひかりなり

深雪みゆきを凌しのぐ潔きよき節操みさおは

国くにを守る力ちからなり

三、山やまは裂さくとも海うみはあすとも

真理しんり正義せいぎおつべしや

不朽ふきゆうを求め意気いき相あゆるす

我等われら丈夫ますら此こにあり

(※) イザイザイザ

うちつれて進むすすは今いまぞ

豊平とよひらの川かわ尽つきせぬながれ

友ともたれ永ながく友ともたれ

(※繰り返し)

(注 有島武郎在学中の明治三十三年の作。

大和田建樹(一八五六・一九一〇)は作詞の面で、

納所弁次郎(一八六五・一九三六)は作曲の面で、

共に近代日本唱歌史に大きな足跡を残した。)

(※繰り返し)